

墮天使よ

お前の浸食作用は至るところにある
性懲りも無く俺たちのたわいのない命を
それこそ虫ケラのように少しづつ削り取り
お前は俺たちを容赦なくこの地に埋葬してきた

祝福はあった

それが生まれたての赤子の無邪気さだとしてもだ

お前はこう言うだろう

無垢なる新生児もやがて忍び寄る
虚無なる予兆に震え泣き叫ぶのだと

漆黒の闇の中で聴く

トレモロの響きの寂寥は
俺たちを象徴するが故に
美しくも哀しい

だが俺たちは地の上に立ち竦むとも
拳を握ってひたすら天を仰いでやろう
生がたった一回限りの
儂い閃光だとはどうしても思えないからだ

廢墟の上を飛ぶ鳥たちよ

その翼を暫し貸してはくれまいか
そして何処までも飛翔する

あのイカロスの無謀さを勇氣に変えて
俺たちは必ず深淵を飛び超えて見せるから